

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書（中間評価書）

平成 29 年 3 月 29 日

計画の名称	1 小野市における水環境の整備		
計画の期間	平成23年度 ~ 平成26年度 (4年間)	交付対象	小野市
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な生活環境を形成する。		
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道処理人口普及率を85.1%（H23）から86%（H26）に引き上げる。</li> </ul>		
定量的指標の定義及び算定式			定量的指標の現況値及び目標値
			備考
		当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H24末)
			最終目標値 (H26末)
① 下水道処理人口普及率 下水道を利用出来る人口（人）／総人口（人）	85.1%	85.4%	86.0%
全体事業費	合計 (A+B+C)	107百万円	A 95百万円 B C 12百万円
			効果促進事業費の割合 C / (A+B+C) 11.2%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
小野市水道部	H29. 2 公表の方法 小野市ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
A1-5	下水道	一般	小野市	直接	—	汚水	新設	第9B汚水幹線枝線（面整備）	φ 150～200 L=2000m	小野市						23	
A1-6	下水道	一般	小野市	直接	—	汚水	新設	第4A汚水幹線枝線（面整備）	φ 200 L=300m	小野市						9	
A1-7	下水道	一般	小野市	直接	—	汚水	新設	第9A汚水幹線枝線（面整備）	φ 150 L=250m	小野市						0	
A1-8	下水道	一般	小野市	直接	—	汚水	新設	第23汚水幹線枝線（面整備）	φ 75～150 L=250m	小野市						0	
A1-9	下水道	一般	小野市	直接	—	汚水	新設	第17A汚水幹線枝線（面整備）	φ 75 L=520m	小野市						0	
A1-12	下水道	一般	小野市	直接	—	汚水	新設	第28汚水幹線	φ 300 L=800m	小野市						48	
A1-13	下水道	一般	小野市	直接	—	汚水	新設	第8汚水幹線枝線（面整備）	φ 200 L=300m	小野市						15	
合計（下水道事業）															95		
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
C1-2	下水道	一般	小野市	直接	—	新設	第9B汚水幹線枝線（面整備）	φ150 L=1000m	小野市						11	
C1-3	下水道	一般	小野市	直接	—	新設	第4A汚水幹線枝線（面整備）	φ200 L=200m	小野市						1	
														合計	12	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C1-2	基幹事業である(A1-5)と接続した枝線整備を一体的に行うことによって、未普及解消が促進される。															
C1-3	基幹事業である(A1-6)と接続した枝線整備を一体的に行うことによって、未普及解消が促進される。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・汚水の面整備を精力的に整備した結果、整備人口が増え快適な生活を営む人が増えた。														
--------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道 処理人口普及率）	最終目標値	86.00%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	86.00%		
		最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
		最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			

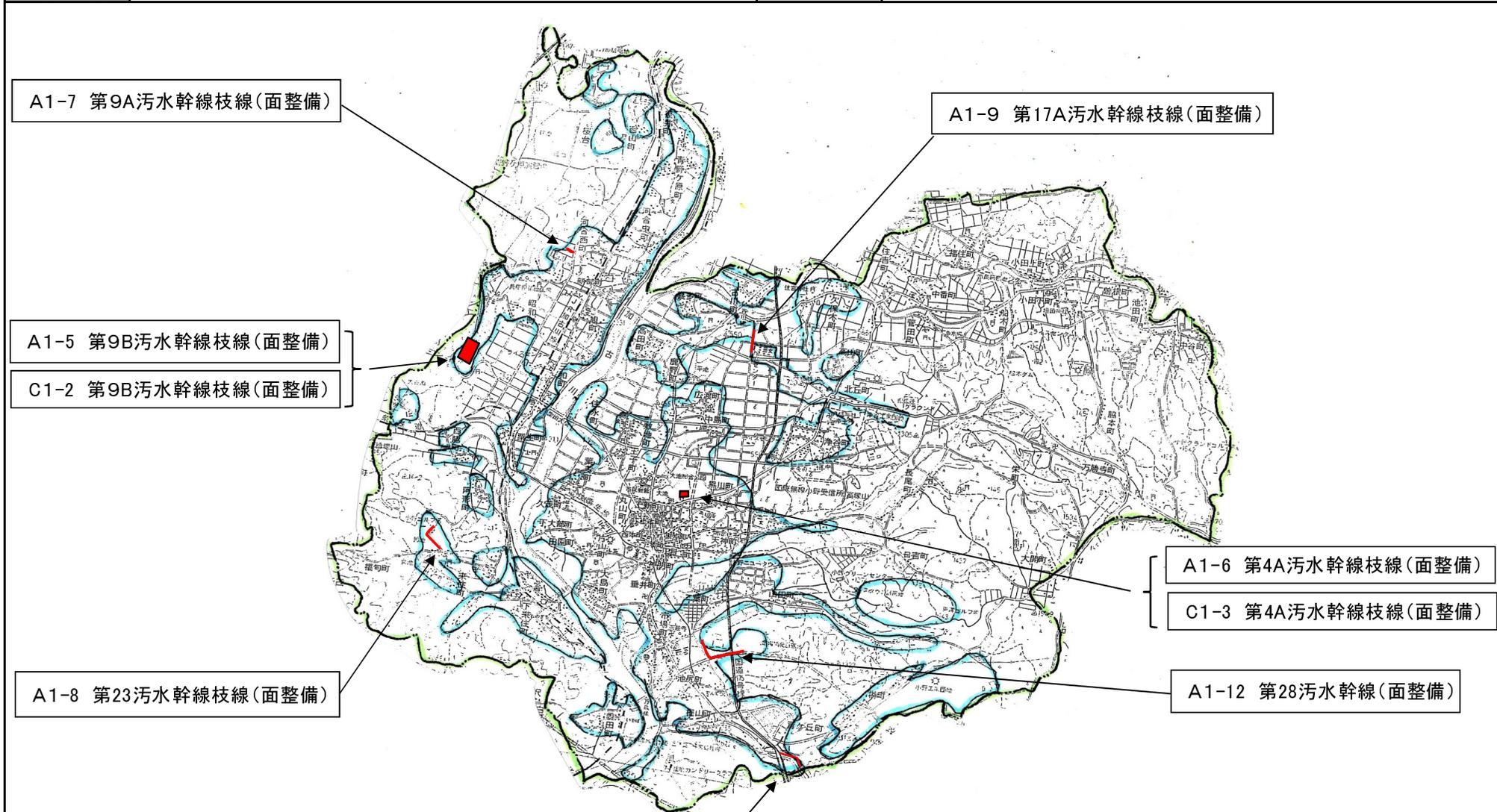
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)															
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3. 特記事項（今後の方針等）

・公共下水道は既成しており、今後は、区画整理や開発地の整備を行っていく。															
--------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 水の安全・安心基盤整備（污水）

計画の名称	1 小野市における水環境の整備	交付対象	小野市
計画の期間	平成23年度～平成26年度（4年間）		



凡例	
	主要管渠整備(未普及解消)
	下水道法による事業計画区域(污水)
	行政区域界